

# バス停からの 小さな旅



## 24 バス停「馬串山」から、 歴史が積み重なった「馬串山」を訪ねて



▲上野池から眺める馬串山

下米田町の南東に位置する米田白山。その裾野の南西にある小高い山をご存じですか。馬串山と呼ばれるこの山地周辺は、チャートや礫岩から成り、恐竜がいた時代の地殻変動で生まれたことが分かっています。

馬串山は歴史を感じさせる山で、バス停「馬串山」を降りた目の前の小さな広場には、江戸時代の僧・播隆上人によって書かれた名号が刻まれた「播隆名号碑」と呼ばれる石碑などの石造物が佇んでいます。ほかにも、登山道には信州地方の石工による廻国供養塔が建てられており、険しい崖には三十三所観音も祭られています。これらは江戸時代以来のもので、津田左右吉博士が記した自叙伝には、明治時代の初めごろ、この辺りは桜の名所としてにぎわっていたという記録もあります。

また、天正10（1582）年には、金山城主の森長可が、斎藤利堯が立てこもっている牛ヶ鼻砦（現古井の天狗山）を攻めるための臨時的な砦が馬串山の山頂に築かれました。

このように馬串山は、各時代の歴史が積み重なった山なのです。

◎文化の森 ☎28・1110



### 今回乗車したバス

行き むくの木・  
そうきち線左回り4便  
帰り むくの木・  
そうきち線左回り6便

11時00分 美濃太田駅南口  
11時36分 馬串山

下車後、目の前の広場  
でお弁当を食べたら、  
広場の石造物を観覧。  
馬串山の北側にある上  
野池の周囲にある石造  
物や桜並木の景色を楽  
しみながら元の広場へ。

15時12分 馬串山  
15時49分 美濃太田駅南口



▲上野池の北西にある「溜池修繕碑」